



病院名	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			その他
	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground road/他施設からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション列2	システム改善への取り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	
東京ベイ浦安市川医療センター 総合内科	モーニングカンファ・5分 間レクチャー・360°評価	MKSAP勉強会・ Journal club・ IMITE	リサーチ委員会	部長回診、 VisitingDr.教育回診	退院支援カンファレンス	M&Mカンファレンス	循環器カン ファ・画像カ ンファ	地域医療講演 会・救急外来 コンサルトシ ステム	チーム制・サインアウト制	チームリーダーミーテ ィング	倫理カンファレンス	
	モーニングカンファ：前日 の新入院患者の症例提示と ディスカッションを行います プレゼンテーションと 臨床推論のトレーニングの 場です	MKSAP勉強会 米国内科学会監 修の内科専門医 試験用問題集を 用いて週1回勉 強会をしています	月2回 各レジデント が研究テーマを持ち寄 り、指導医とともにデ ザインや進捗状況など をdiscussionします	入院日の翌日 には難症例を 中心に部長が 教育回診を行 います	退院支援カンファレンス：長期入院、 退院困難な患者のDispositionについて 多職種でディスカッションを行いま す。	M&Mカンファレ ンス：転機不良の症例 をもとに、原因究 明、安全のためのシ ステム改善や知識の 共有につなげます	循環器カン ファ：循環器 疾患について GIMと循環器 の併診制を引 いており毎朝 治療方針を discussionし ます	地域医療講演 会：周囲の医 療機関、開業 医の先生をお 招きし、合同 で講演会、勉 強会を開催し ています	チーム制、サインアウト制を採用 し夜間は当直医へ完全申し送り制 としています。	チームリーダーミーテ ィング：GIMの運営、課題 の抽出、システムの改善 などPGY5レジデントと フェロー、指導医で毎週 discussionし組織として の質の改善につとめてい ます	倫理カンファレンス：倫理カンファレ ンスでは終末期医療や難しい臨床判断、予 後予測や緩和医療などを実際のケースを もとにディスカッションします	
	5分間レクチャー 毎朝曜 日別の各科レクチャーを行 い、体系的な知識の構築を 意識しています。	Journal club 臨 床の現場からで た疑問から Evidenceを検索 し、論文の批判 的吟味を行い実 臨床にフィード バックするト レーニングを行 います		Tierney先生 (UCSF)、 schlossberg 先生（ペンシ ルバニア大学 病院感染症 科）、 Watters 先生 (ハワイ大学神 経内科)、岸本 先生、岡田先生 (聖路加国際病 院 膠原病科) など多彩な Visiting doctorのレク チャーもあり 病棟では教育 回診も一緒に 行っています			画像カン ファ：毎週1 回放射線科専 門医から教育 的な画像症例 について teachingをお こなっていま す	救急外来コン サルトシステ ム：当院と地 域医療振興協 会内の各地域 の病院をネッ ト環境で接続 し、オンライ ンTV電話で のコンサルト システムを採 用しています。				
	360°評価 年度の終わ りに同僚、先輩、後輩、コメ ディカル計10人から ACGME6competencyに基 づき評価を受けます	IMITE 総合内科 の後期研修医全 員が米国内科学 会専門医の模擬 試験を年1回受 けます。										
筑波大学附属病院総合診療科/水戸 協同病院	研修医の360度評価(水戸)		年一回の研修医研究発 表(各自研究、水戸)	グランドカン ファランス(火 曜、水戸)			グランドカン ファに全内科 参加(火曜・ 水戸)、毎日 各科カンファ ランス					

病院名	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			その他
	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground roud/他施設 からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション 列2	システム改善への取 り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウ ト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	
飯塚病院 総合診療科	外来ブロック研修・救急外 来指導医当直・後期研修医 評価・研修アドバイザー制 度・FD(Faculty development)研修	新患症例カン ファレンス・シ ニアカンファ ・EBMカンファレ ンス・重症診療 チームレク チャー・文献抄 読会・		モーニングレ ポート・退院 患者カンファ レンス	退院サポートチーム・重症診療チーム における多職種カンファレンス	M&Mカンファレン ス・TQM活動	総診救急合同 カンファ・		チーム制・マネージャー制・重症 診療チーム制・サインアウト制	スタッフミーティング・ チームリーダーミーティ ング・後期研修医グルー プミーティング・レジデ ントデイ		
	外来ブロック研修：後期研 修医を対象に年に6～7週 間の外来診療のみの研修期 間を設けている。専属の外 来研修指導医があり、外来 終了後後期研修医の診察し た外来患者をレビューし、 フィードバックします。	新患症例カン ファレンス：火 ～木曜日。8:00 ～8:30。総合診 療科に入院と なった症例を用 いた初期研修医 を対象とした教 育的症例カン ファレンス。初 期研修医が定型 的なプレゼン テーションを行 い、スタッフも しくは後期研修 医が司会を行 います。診断推論 を重視し運営し ます。		モーニングレ ポート：火～ 金曜日。8:00 ～8:30。病棟 診療チーム リーダー対 象。夜間当直 医からのイベ ントの報告と 前日入院患者 の報告。	退院サポートチーム：現在試験的に施 行中。ある病棟診療チームに特定の MSWがチームとして加わり、定期的に 退院促進を目的とするミーティングを 行います。早期の退院および環境調整 を試みます。	M&Mカンファレン ス：第1金曜日。 18:00～19:00。診 療の質および安全性 を改善する目的で、 不幸にして合併症が 起きたケース、死亡 したケースを同僚間 で振り返る事例検討 会です。対象は研修 医で井村部長と若手 スタッフが運営しま す。	総診救急合同 カンファ：月 に1回。 18:00～ 19:00。全研 修医対象。基 本的にスタッ フは不参加。 救急外来を経 て総合診療科 に入院となっ た症例につい て振り返りを行 い、入院担 当主治医より フィードバッ クを行います。	チーム制：5つの一般病棟診療 チームと重症診療チームで常時 100～120名の入院患者の診療を 行います。一般チームはスタッフ もしくは後期3年目、後期研修医 1名の4名で構 成、重症チームはスタッフを含め た経験者3名と後期研修医で重症 診療チーム未経験者3名の6名で構 成されます。前日当直帯に内科入 院となった患者は朝各チームに振 り分けられ、当日の新規入院患者 は曜日毎に定められたチームに振 り分けられます。重症は24時間体 制で新患の受け入れと院内急変に 対応します。	スタッフミーティング： 第1、3水曜日。19:00～ 20:00。スタッフおよび チーフレジデントが参 加。診療内容、他職種と の連携、他科との連携、 業務改善、学会などのイ ベントの確認、チームメ ンバー不在時のサポート などを討議します。			
	救急外来指導医当直：初期 研修医1年目が準夜帯 (16:30～24:30)に救急外 来の内科wali inの患者を診 療する際、総合診療科ス タッフがマンツーマンで指 導に当たる。期間は4月～8 月、学習目標を設け、終了 後規定のプリセプティング シートを用いてフィード バックを行います。	シニアカンファ レンス：木曜 日。18:00～ 19:00。症例を 用いた後期研修 医を対象とした カンファレン ス。後期研修医 がプレゼンテー ションを行い、 後期研修医が司 会をします。教 育的症例や共有 すべき症例を用 い、後半はスラ イドを用いたレ クチャーを行 います。		退院患者カン ファレンス： 月曜日。8:00 ～8:30。先週 の退院症例の リストアップ と最終診断の 確認。スタッ フによる興味 深い症例の掘 り下げ。	重症診療チームにおける多職種カン ファレンス：毎日午前中。ICU、HCUに いる担当患者については全例担当医 師、看護師、栄養士、理学療法士、薬 剤師とともに回診を行い治療方針の共 有をはかります。	TQM活動：Total Quality Management。全 員、全体で医療・ サービスの質を継続 的に向上させる活 動。職員一人一人が その手法を身につ け、質的向上と改善 を進める体質造り として1992年に取り 入れられました。毎年9 月に参加サークルに よる発表大会が開催 されます。平成26年 度より総合診療科と して活動に参加して いきます。		マネージャー制：チームに属さな いスタッフ1名が各チームの診療 のサポート・管理を担当します。 新患振り分け、マンパワーが少 ないチームの診療サポート、若手 のチームリーダーが困ったときの サポート、病棟運営の改善、多職 種カンファレンスの運営、退院促 進など横断的に行います。3ヶ月 毎のチーム交代時に担当が入れ替 わります。	チームリーダーミーティ ング：第2、4水曜日。 19:00～20:00。病棟診 療チームリーダーが参 加。研修内容、診療上の 問題点、チームメンバー の調子、問題症例の共 有、カンファレンス運営 などを討議します。			



病院名	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			その他
	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground roud/他施設 からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション 列2	システム改善への取 り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウ ト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	
練馬光が丘病院 総合診療科	ポートフォリオを用いた相互フィードバック、メンター制度、5分間レクチャー	MKSAP、EBMカンファレンス、臨床推論カンファレンス(English)、集中治療カンファレンス、老年医学カンファレンス、M&Mカンファレンス	クリニカルバンドルに関する単施設研究	朝回診、チームラウンド(毎日)	多職種カンファレンス(週2回)、合同勉強会、NST	各領域へのチェックリストの導入	外科合同カンファ、放射線科カンファ(それぞれ月1回)、血液カンファ(週1回)	地域連携勉強会(年2回)、遠隔テレビカンファ(久米島)	サインアウト制度(毎日17時に当直へ申し送り)、チーム制	戦略会議	ethics勉強会(月1回)・多職種カンファ	院外講師 招聘多数
	ポートフォリオ：毎週末にチームリーダーとそのチームのレジデントはポートフォリオを用いてふりかえりを行います。またその週に出たクリニカルクエストを確認します。	MKSAP勉強会：米国内科学会監修の内科専門医試験用問題集を用いて週1回勉強会をしています	医療の質の向上に寄与すべく、内科領域へのクリニカルバンドルの応用を検討するための前向き研究を行っています。	朝カンファ：毎朝8:10-9:00まで前日の入院全症例につきディスカッションを行います。	多職種カンファレンス：医師、看護師、リハビリ、MSWが集まり、それぞれの部門から問題点のある患者を共有し、皆でディスカッションを行い、スムーズな退院を目指します。	疾患ごとのチェックリストを導入し、診療の質の維持を目指しています。	外科合同カンファ：月1回外部講師の米国外科専門医をお招きし、問題点を抽出して複数症例のふりかえりを行い、そこから学ぶべきポイントにつき知識の共有を行う。	年2回、周囲の医療機関、開業医の先生をお招きし、合同で講演会、勉強会を開催しています	サインアウト：17時に日々'unstable'の患者につき当直医に申し送りを行う。申し送りはサインアウトシートに記入。	スタッフが定期的に集合し、教育方法、組織運営の改善のための話し合いを行う。またサイボウズliveを用いてオンラインで会議間も話し合いを深める。	ethics勉強会：終末期医療やcodeなどにつき実際のケースをもとにディスカッションを行う	日本、国外問わず多数の外部講師を招聘し、指導にあたっていただいている。
	メンター制度：レジデントには一人ずつメンターがつき、キャリア形成のお手伝いを行います。また、学会準備やプレゼン準備の指導、手伝いも行います。	EBMカンファレンス：JAMAのuser's guideに基づき、実際の症例からクリニカルクエストをPICOに落とし込み、文献検索を行った上で、文献につき発表、議論を行います。		チームラウンド：毎朝および毎夕にチームごとに病棟回診およびチャート回診を行って全患者のフォローをチーム全体で行います。	NST：医師、ST、栄養科が一体となり、入院患者の栄養介入を行います。		放射線カンファレンス：毎月1回、一つの疾患に的をしぼって、実際の症例をベースに読影のポイントにつきご教示いただく。	遠隔地テレビカンファレンス：Skypeを用いてカンファレンス参加、ふりかえりを行う	チーム制：全患者それぞれのチームでの診療を行う。主治医が外来・検査中はその他のチームメンバーが対応する。また平日に休みがとれるよう、チームで患者を把握、主治医が休日の際にはチームメンバーが代診を行う。			
	5分間レクチャー：朝カンファで話題にあがったクリニカルクエストに基づき、レジデントがそれを翌日以降の朝カンファレンスの最後に5分間で発表。いかにレクチャーを効率よくつくるか、プレゼンの方法なども同時に学ぶ。	臨床推論カンファレンス：実際の経験症例を臨床推論の形で共有します。その後、身体診察のセッションもあります。すべて英語で行います。					血液カンファレンス：血液疾患症例のレビューと血液内科非常勤医師によるクルズス					

病院名	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			その他
	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground roud/他施設 からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション 列2	システム改善への取 り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウ ト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	
		老年医学カンファレンス：他院から米国老年医学専門医をお招きし、当院の症例を共有してディスカッション、その後カリキュラムに沿ったレクチャーを行っていただきます。										
東京医療センター 総合内科	初診レビュー・再診レビュー・入院患者レビュー・新入院カンファ・common diseaseセミナー	EBMカンファ・報告連絡相談カンファ・common diseaseセミナー・内科当直医勉強会	臨床研究ゼミ・多施設合同研究	チーム回診・Dr ティアニーround	ドクターナースカンファレンス・HIVミーティング	業務連絡会・報告連絡相談カンファ	糖尿病カンファ・リハビリカンファ	地域医療カンファレンス・関連機構病院への研修派遣	週末オフコール・代休制度	スタッフミーティング・レジデントミーティング・レジデントデイ（月1回）・スタッフ会議（月1回）	臨床試験倫理委員会・RRカンファレンス	
	初診・再診外来レビュー：週1コマずつの初診・再診外来日の夕方に指導医と後期研修医がすべての症例についてレビューを行っています。	EBMカンファ：週1回、臨床上の疑問についてPECOに基づいて文献検索を行い、エビデンスの適応など考察を含めて発表しています（初期・後期研修医1回ずつ）。	臨床研究ゼミ：希望者は臨床研修室長が月1回程度開催している、臨床研究ゼミに参加し、デザインや方法などの相談を行うことができます。2014年度は聖路加・ライフサイエンス研究所と合同でプロジェクトとして希望者へのe-learningや支援を行っています。	チーム回診：回数、レジデントと一緒に回るかなどはチームリーダーの方針によります。	ドクターナースカンファレンス：週1回、病棟看護師と担当医が、方針の確認などを行っています。	業務連絡会：月曜日の朝に、その週の予定の確認や、必要な連絡などを行っています。	糖尿病カンファ：月1回、内分泌科専門医が糖尿病についてのレクチャーを行っています。	地域医療カンファレンス：月1回、病院主催で地域の開業医などが参加できる勉強会を開催しています。	週末オフコール：月1回、週末の完全オフコールがあります。	スタッフミーティング：月曜朝の連絡会の後、スタッフが管理運営などについて話し合いを行っています。	臨床試験倫理委員会：臨床試験を行う際、院内の倫理委員会で審査を行っています。	
	入院患者レビュー：平日は毎日、全入院担当患者の方針等について指導医とディスカッションを行います。	報告連絡相談カンファ：チームで悩んでいる症例などについて、科全体でディスカッションを行っています。	多施設合同研究：国内のClostridium difficile infectionに関する多施設合同研究に参加しています。	Dr ティアニーround：年1回、ティアニー先生が来院し症例相談などを行っています。	HIVミーティング：月1回、後期研修医が担当しているHIV患者についてのディスカッションを他職種で行っています。	報告連絡相談カンファ：科全体で検討が必要な事柄について、話し合いを行っています。	リハビリカンファ：月1回、リハビリテーション科医師・技師とレジデントが担当患者についての方針についてディスカッションしています。	関連機構病院への研修派遣：研修を兼ねて、在宅中心の病院（東埼玉病院）・地域中小病院（栃木医療センター）などへの派遣を行っています。	代休制度：土日祝日に24時間当直に当たったレジデントは後日平日に代休を取得することができます。	レジデントミーティング：月曜朝の連絡会の後、レジデントが研修のあり方などについて自主性を持って話し合いを行っています。	RRカンファレンスでは、主に後期研修医が悩んだ事例について感情的な側面を踏まえSEA(significant event analysis)方式で考察し、ディスカッションしています。	

病院名	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			その他
	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground roud/他施設 からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション 列2	システム改善への取 り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウ ト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	
	新入院カンファ：火・水・ 金曜の朝に、新入院患者の プレゼンテーションを行 い、方針の確認・アドバイ スを行っています。	common deseaseセミ ナー：毎年4～ 5月に週2回程 度、ランチオン で糖尿病・脳梗 塞などしてみる 外来・病棟で診 るcommon deseaseのレク チャーを行って います。				レジデントday：他 院研修中の後期研修 医もスカイプで参加 し、業務やスケ ジュールについて相 談します。				レジデントディ：月1 回、各施設で研修してい るレジデントがインター ネット会議で集まり、研 修の様子などを共有して います。		
		内科当直勉強 会：毎年4-6月 に1回/週、内科 全体で新人後期 研修医向けに当 直で診る疾患に ついてのレク チャーです。院 内ルールを含め た内容で、外 科・産婦人科・ 放射線科など他 科の協力をえて 行っています。								スタッフ会議：月1回、全 スタッフが参加して科の 運営やスケジュールにつ いて話し合います。会議 の冒頭では幹部レジデ ントからの要望や質問が伝 えられます。		